

薬品の入庫や登録は、e-web から行うのに対し、薬品の在庫量、使用量などは、Data manager(図 1) を用いて行う。研究室等の職員がログインしてデータの集計や管理を行う。(学生には権限なし)

部局ごとに所定のサーバにログインする。
https://occs-s1-web.epc.osaka-u.ac.jp/iaso_r4/
 (S1 サーバ : 工、産研、微研、蛋白・・・)
https://occs-s2-web.epc.osaka-u.ac.jp/iaso_r4/
 (S2 サーバ : 人科、医、生命、薬、歯、医病・・・)
https://occs-t-web.epc.osaka-u.ac.jp/iaso_r4/
 (T サーバ : 理、基工、極限、太陽・・・)

Data manager は各種の集計機能を備えているが、そのうち、「毒劇物の在庫リスト」の出力および使用簿の代わりとなる「薬品履歴リスト」の出力について説明する。

図 1 . OCCS Data manager



毒劇物の在庫リスト

保管場所や法規条件を設定し、在庫リストを出力することができる。

在庫リストをクリックする。(図 2)
 選択ボタンをクリックし、開いた「法規選択」画面で、該当する法規を選ぶ。(図 4)
 詳細リストにチェックを入れ、LIST をクリックすると、在庫詳細リストが表示される。(図 5)

図 2 .



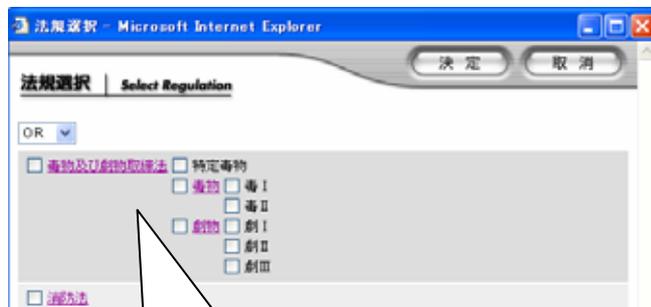
在庫リストを選択する。

図 3 .



選択をクリックし、「毒物及び劇物取締法」を選択し決定をクリックする。詳細リストにチェックを入れ、LIST ボタンをクリックする。

図 4 .



毒物や劇物のみを選択する場合には、選択をクリックした画面の赤字部分をクリックし、開いた下部の階層の該当する法規を選択する。

図 5 .

ファイル作成をクリックして、エクセルファイルとしてダウンロードする。



図 5 の画面をプリントアウトして在庫一覧ができる。また、在庫件数が多い場合には、図 5 の画面の右上「ファイル作成」をクリックし、続いて「ダウンロード」をクリックすることにより、csv ファイルとして出力することができる。(csv ファイルはエクセルに読み込むことができる)

薬品履歴リスト

試薬ビンごとの使用履歴（使用者、使用量および在庫量など）は薬品履歴リストから出力できる。

薬品履歴リストを選択する（図 6）

図 7 のように、バーコード No を入力して、LIST をクリックすると、薬品履歴リストが表示される。（図 8）

図 6 .



薬品履歴リストを選択する

図 7 .



バーコード No を入力し、右の LIST ボタンをクリックする。

図 8 .



在庫リストの場合と同様に、図 8 の画面の右上「ファイル作成」をクリックし、続いて「ダウンロード」をクリックすることにより、csv ファイルとして出力することができる。

この OCCS による「薬品履歴リスト」は、従来の毒劇物受払簿として機能することが「大阪大学における毒物及び劇物の管理に関する規程」に定められている。